

平成29年第1回定例会（6月議会）

予算特別委員会福祉環境分科会提出資料

福祉環境委員会提出資料

—— 補正予算・議案関係 ——

平成29年6月19日

健 康 福 祉 部

目 次

◎ 補正予算関係

1	「健康寿命日本一！」へのチャレンジ	……………	1
2	地域医療介護総合確保基金積立金	(福祉政策課) ……………	2
3	(新) 福祉人材確保推進事業	(地域・家庭福祉課) ……………	3
4	(新) 災害福祉広域支援体制整備事業	(地域・家庭福祉課) ……………	4
5	地域で支える認知症施策推進事業	(長寿社会課) ……………	5
6	地域介護福祉施設等整備事業	(長寿社会課) ……………	6
7	(新) 老人福祉総合エリア改修事業	(長寿社会課) ……………	8
8	(新) 介護職員処遇改善加算取得促進特別支援事業	(長寿社会課) ……………	9
9	(新) ヘルプマーク・ヘルプカード普及推進事業	(障害福祉課) ……………	12
10	(新) 手話等普及啓発促進事業	(障害福祉課) ……………	13
11	障害児・者施設整備補助事業	(障害福祉課) ……………	15
12	(新) 災害派遣精神医療チーム体制整備事業	(障害福祉課) ……………	16
13	(新) 「あきた健康宣言！」推進事業	(健康推進課) ……………	18
14	歯科保健医療推進事業	(健康推進課) ……………	21
15	がん医療対策推進事業	(がん対策室) ……………	23
16	災害医療体制整備事業	(医務薬事課) ……………	24
17	在宅医療推進支援事業	(医務薬事課) ……………	25
18	医療ネットワーク推進事業	(医務薬事課) ……………	26
19	病床機能分化連携促進事業	(医務薬事課) ……………	27
20	(新) 高齢化社会に対応した医療提供体制推進事業	(医務薬事課) ……………	28

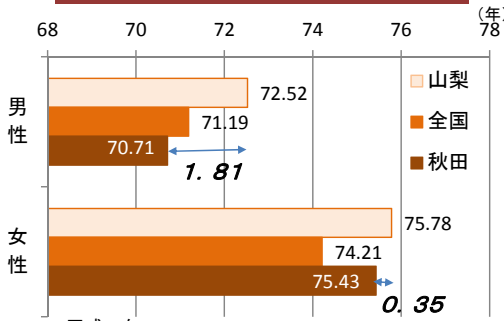
◎ 議案関係

1	秋田県障害児通所給付費等不服審査会条例の一部を改正する条例案の概要	(障害福祉課) ……………	30
---	-----------------------------------	---------------	----

「健康寿命日本一!」へのチャレンジ

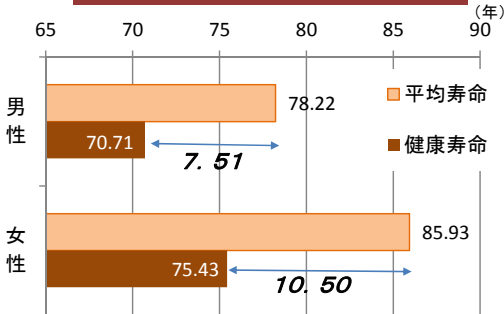
1 現状

秋田県と健康寿命日本一の県との比較



*平成25年
出典:厚生労働科学研究班資料

秋田県の平均寿命と健康寿命の比較



*健康寿命は平成25年、平均寿命は平成22年
出典:厚生労働科学研究班資料、都道府県別生命表(厚労省)

秋田県民の生活習慣

健康に影響を与える代表的な指標を見ても、秋田県民の生活習慣は芳しくない。

♂ 1日平均歩数: 6,788歩 (全国44位。全国平均7,791歩)
食塩摂取量: 12.3g (全国4位。全国平均11.3g)
野菜摂取量: 322g (全国8位。全国平均297g)
喫煙率: 38.2% (全国5位。全国平均33.7%)

♀ 1日平均歩数: 6,028歩 (全国47位。全国平均6,894歩)
食塩摂取量: 10.2g (全国6位。全国平均9.6g)
野菜摂取量: 302g (全国7位。全国平均280g)
喫煙率: 10.6% (全国14位。全国平均10.7%)

出典:平成24年国民健康・栄養調査、平成25年国民生活基礎調査

2 基本的考え方

死亡率の低減 = 平均寿命の延伸

日常生活に制限のある「不健康な期間」の短縮

健康度(日常生活に制限のない期間)の向上 = 健康寿命の延伸

県民の健康意識を高め、行政・民間団体・企業などが様々な場面でそれぞれ主体的に行動
10年で「健康寿命日本一」にチャレンジ

健康づくりの取組を全県で県民運動として展開

当面の目標: 今後5年で平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸

一人ひとりの健康づくりを「見える化」し普及・啓発

身体活動・運動	プラス10分で約1,000歩伸ばす
栄養・食生活	2gの減塩、野菜摂取プラス50gを具体的に見える形で啓発
たばこ	喫煙の健康リスクを具体的な数値で啓発し、男性喫煙率10%低下
歯と口腔	3歳児におけるう蝕のない者の割合 75.6% → 90.0% (H34)
メタボ	メタボリックシンドロームの該当者・予備群の割合 27.8% → 20.9% (H34)
心の健康	自殺者数 240人 → 200人以下 (H32)
健(検)診	特定健診実施率 44.0% → 70.0% (H34)

※記載のない場合、H33年度までの目標値 ※数値目標は「あきた健康長寿政策会議(仮称)」で精査

健康づくりに取り組む団体や企業の活性化

市町村	地域の健康課題の改善に向けて、健康づくり事業を実施
保険者・医療機関	健(検)診受診率向上・健康教育などの推進
経済団体・企業	健康経営に取り組む企業の増加・従業員の健康づくりを支援
健康づくり団体	減塩・心の健康づくりなど健康づくりの活動を連携して推進

推進機関

あきた健康長寿政策会議(仮称)
施策の提言・評価
秋田県健康づくり県民運動推進協議会(仮称)
県民運動の推進母体

一人ひとりの生活習慣の変容に向けた取組

- 健康づくりに取り組む人材の育成: 5年で2,000人(健康意識が高く、自ら実践し、家族・知人に健康づくりを広げる人材: 長野県の保健指導員の人材)
- 健康づくりに関する地域・職場・学校等での活動に自主的に参加する者を10%増加

啓発による意識の醸成

- イベントやメディアを通じた啓発へ各団体・企業も参画
- 団体・企業の取組をメディア等で紹介
- 健康づくり人材の活動の場を企業等にも展開

社会環境の整備・多様な主体の活動の活性化

- 市町村キャラバンで地域の健康課題の共有
- 健康経営に取り組む企業を毎年100社増加
- 健康づくりに取り組む団体や企業を顕彰
- 健康づくりの取組などの活動を発表する場として、県民大会を開催

相互の取組を連動

3 主な事業の内容

○=当初、●=6月補正

基盤づくり

- 秋田県健康づくり推進体制整備事業
「あきた健康長寿政策会議(仮称)」の開催
「秋田県健康づくり県民運動推進協議会(仮称)」の開催
- 健康づくり基盤整備事業
市町村別健康課題の分析、地域・職域連携

意識啓発

- 「あきた健康宣言」周知啓発事業
メディアを活用した啓発、健康フェアの開催
- 市町村巡回キャラバン事業
- がん情報発信事業

人材づくり

- 地域健康づくり人材活性化事業
各市町村における「健康長寿推進員(仮称)」の育成、タウンミーティングの開催

健康づくり

- 一生自分の歯で食べられる子どもを育成するための普及啓発
乳幼児向けの歯磨きハンドブックの作成とその活用
- モラルウォーキング
○高齢者元気アップ支援事業(スポーツに親しむ機会の提供)
○心はればれ県民運動推進事業(心の健康づくり、自殺予防)
○生活習慣病予防対策事業(減塩など生活習慣改善推進)

医療

- 高齢社会に対応した医療提供体制推進事業
高齢者医療先端研究センター(仮称)の運営支援及び呼吸器内科医養成体制の構築

社会参加

- ヘルプマーク・ヘルプカードの配付及び普及啓発
- がん患者医療用補正具(ウィッグ等)の購入費助成

事業概要

福祉政策課

事業名	内容
<p>地域医療介護総合確保 基金積立金</p> <p style="text-align: right;">1, 020, 829 千円</p> <p>(国 680, 525) (財 41) (一 340, 263)</p>	<p>1 目的 医療介護総合確保促進法に基づき策定する秋田県計画（平成29年度）に掲げる事業を実施するため、国の医療介護提供体制改革推進交付金を活用し、地域医療介護総合確保基金を積み立てる。</p> <p>2 対象事業 (1) 医療分 ①地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業 ②居宅等における医療の提供に関する事業 ③医療従事者の確保に関する事業</p> <p>(2) 介護分 ①介護施設等の整備に関する事業 ②介護従事者の確保に関する事業</p> <p>3 内訳 (1) 元金 1, 020, 788千円</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>国負担 (2/3) 680, 525千円</p> <p>県負担 (1/3) 340, 263千円</p> </div>

○基金積立金の内容 (単位：千円)

区分	基金積立金	基金積立金の内訳	
		国負担	県負担
医療分	345,395	230,263	115,132
介護分	675,393	450,262	225,131
計	1,020,788	680,525	340,263

(2) 運用利息 41千円
平成29年度運用益見込み

【参考】基金の積立状況 (単位：千円)

区分	H26	H27	H28	H26～28 積立額計	(参考) H28末 執行残額	H29 今回積立額	備考
医療分	1,070,000	864,988	1,012,284	2,947,272	1,393,371	345,395	国の内示を踏まえ、追加計上を予定
介護分	—	1,013,865	1,956,184 (H27国補正分) 1,303,928	4,273,977	2,376,288	675,393	
計	1,070,000	1,878,853	4,272,396	7,221,249	3,769,659	1,020,788	

事業概要

地域・家庭福祉課

事業名	内 容
<p>⑨ 福祉人材確保推進事業</p> <p style="text-align: right;">2, 169千円</p> <p>(⊖ 2, 169)</p>	<p>1 事業目的</p> <p>福祉の仕事をもっと正しく認識してもらうための情報を積極的に発信して、一面的なマイナスイメージの払拭を図るとともに、若者の参入促進や元気な高齢者が福祉の現場で活躍できる環境づくりを進めるなど、福祉人材の確保・定着を図る。</p> <p>2 実施主体 県</p> <p>3 事業内容</p> <p>(1) 福祉人材確保推進協議会の設置 558千円</p> <p>福祉人材の確保・定着を促進するための施策の検討や推進主体としての取組を行う。</p> <p>①構成メンバー</p> <p>介護、障害、保育、看護等の関係団体や県福祉保健人材・研修センター(県社会福祉協議会)の代表者など12名</p> <p>②検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の参入促進に向けて発信する情報の内容や活用方法 ・高齢者が活躍できる仕組の構築(場の選定、養成研修プログラム、マッチングの方策) ・子育てを終えた女性の福祉分野への関心喚起策 等 <p>(2) 求職者や学生等に対する情報提供、啓発 1, 611千円</p> <p>①求職者や高校生・大学生を対象とした仕事の具体的な内容や情報をまとめたリーフレットの作成・配布</p> <p>②中学生やその保護者、教師等を対象とした福祉の仕事に関する理解を促進するパンフレットの作成・配布</p> <p>③イメージアップを図るポスターの作成・配布</p>

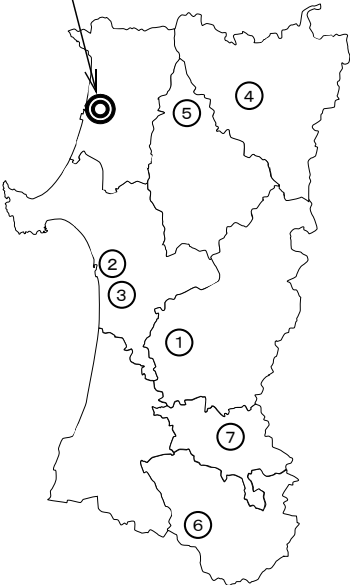
事業概要

地域・家庭福祉課

事業名	内 容
<p>⑨ 災害福祉広域支援体制整備事業</p> <p style="text-align: center;">1, 099千円</p> <p>(国 1, 099)</p>	<p>1 事業目的</p> <p>大規模災害の発生時に、高齢者や障害者等の特別な配慮を要する人に適切な対応を行えるように、避難所等において要配慮者に対する支援活動を実施する「災害福祉支援チーム(DCAT)」の派遣体制を整備する。</p> <p>2 実施主体 (福)秋田県社会福祉協議会</p> <p>3 事業内容</p> <p>全県的な体制整備のあり方や、各チームの編成・派遣方法、チーム員の養成方法等について、福祉関係機関等を構成メンバーとする「秋田県広域災害福祉支援ネットワーク会議」において検討する。</p> <p>(1) 補助率 国10/10</p> <p>(2) 秋田県広域災害福祉支援ネットワーク会議メンバー 県社会福祉法人経営者協議会、県老人福祉施設協議会、県医師会、社会福祉士会、介護福祉士会、介護支援専門員協会、市町村の代表者など14名</p> <p>(3) 検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害派遣福祉広域支援体制 (平常時や災害時における各機関の役割、手順等) ・DCATの編成・派遣方法 ・DCAT養成研修プログラム 等 <p>4 スケジュール</p> <p>H29 体制等の検討、他県視察等</p> <p>H30～ チーム員の募集・養成・登録</p>
<p>【DCAT（ディーキャット）とは】</p> <p>一定の研修を受けた者をチーム員として登録し、災害救助法が適用となる程度の大規模災害の発生時に4～6人程度でチームを編成し、避難所等において、福祉と保健・医療、避難所運営者、その他関係者が連携して要配慮者に対する支援活動を行う。Disaster Care Assistance Teamの略。</p> <p>○活動場所：一般避難所、福祉避難所等</p> <p>○活動内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉相談体制の確立（避難所内相談窓口の支援等） ・スクリーニング（避難者への聴き取りによる要配慮者の選別） ・優先的搬送対応（社会福祉施設への緊急入所・福祉避難所への移送等のコーディネート） ・福祉避難室確保対応（一般避難所内での要援護者用別室確保の支援） 等 	

事業概要

長寿社会課

事業名	内容
<p>地域で支える認知症施策推進事業</p> <p style="text-align: center;">3,020千円</p> <p>(国 1,509) (一 1,511)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">能代厚生医療センター</div> 	<p>1 事業目的 認知症の早期診断・早期対応に向け、認知症医療の充実及び介護・福祉との連携強化を図るとともに、県民の利便性の向上に資するため、認知症疾患医療センターの運営に要する経費に対して助成する。</p> <p>2 事業内容 新規開設センターへの運営費補助 3,020千円 (1) 交付先 秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター (2) 所在地 能代市落合字上前田地内 (3) 類型 地域型 (4) 指定予定日 平成29年10月1日 (5) 主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ①精神保健福祉士による相談等 <ul style="list-style-type: none"> ・専門医療相談（電話・面接） ・地域包括支援センター等関係機関との連携 ②鑑別診断、診療情報の提供等 <ul style="list-style-type: none"> ・病名を特定するための鑑別診断 ・かかりつけ医等への診療情報の提供 ③研修・会議等 <ul style="list-style-type: none"> ・医療連携協議会の開催 ・各種団体向けの研修会の開催 ・相談動向等に関する調査分析、広報等 <p>3 今後の方針 未設置医療圏（由利本荘・にかほ医療圏）については、医療機関に対する意向調査等を踏まえ、早期設置に向けて調整を行っていく。</p>

	既設・新設	設置先	類型	指定年月
①	既設	県立リハビリテーション・精神医療センター	地域型	H25.10月
②		秋田緑ヶ丘病院	地域型	H27.10月
③		市立秋田総合病院	基幹型	H28.10月
④		大館市立総合病院	地域型	H28.10月
⑤		たかのす今村クリニック	連携型	H28.10月
⑥		菅医院	連携型	H29.2月
⑦	新設	横手興生病院	地域型	H29.10月予定
⑨		能代厚生医療センター	地域型	H29.10月予定

事業概要

長寿社会課

事業名	内 容																																																																		
<p>地域介護福祉施設等整備事業</p> <p style="text-align: center;">846,448千円</p> <p>(Ⓐ 846,448)</p> <p>[地域医療介護総合確保基金]</p>	<p>1 事業目的</p> <p>「市町村介護保険事業計画」及び「県介護保険事業支援計画」に基づき、各地域において必要な地域密着型サービスを提供する施設等の整備及び施設の円滑な開設を促進するため、必要な経費について支援するとともに、特別養護老人ホームの多床室に入所する利用者のプライバシー保護のため、必要な改修費用について支援を行う。</p> <p>2 実施主体</p> <p style="text-align: center;">市町村、社会福祉法人</p> <p>3 事業内容</p> <p>(1) 地域密着型サービス施設等整備事業</p> <p style="text-align: right;">687,270千円</p> <p>住み慣れた地域で安心して暮らすため、住民のニーズに対応したサービスを提供する施設等の整備に要する経費を補助。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">実施主体</th> <th style="width: 35%;">施設種別</th> <th style="width: 20%;">事業者</th> <th style="width: 10%;">定員</th> <th style="width: 15%;">補助額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">大館市</td> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>(福)比内ふくし会</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: right;">32,000</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>(福)比内ふくし会</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: right;">32,000</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>(株)エーアイエム</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: right;">32,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">北秋田市</td> <td>小規模(定員29人以下)のケアハウス</td> <td>(福)秋田県民生協会</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: right;">59,780</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">能代市</td> <td>地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td>(福)しらかみ長寿会</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: right;">123,830</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">男鹿市</td> <td>地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td>(福)福ふく(仮称)</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: right;">123,830</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">秋田市</td> <td>地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td>(福)はまなす会</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: right;">123,830</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">由利本荘市</td> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>(株)Kitahamanokaze</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: right;">32,000</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>(株)虹の街</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: right;">32,000</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>(株)虹の街</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: right;">32,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">仙北市</td> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>(株)大曲仙北介護支援事業所</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: right;">32,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">湯沢市</td> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>こまち農業協同組合</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: right;">32,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計 (12施設)</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="text-align: right;">687,270</td> </tr> </tbody> </table>	実施主体	施設種別	事業者	定員	補助額 (千円)	大館市	認知症高齢者グループホーム	(福)比内ふくし会	9	32,000	小規模多機能型居宅介護事業所	(福)比内ふくし会	25	32,000	認知症高齢者グループホーム	(株)エーアイエム	9	32,000	北秋田市	小規模(定員29人以下)のケアハウス	(福)秋田県民生協会	14	59,780	能代市	地域密着型特別養護老人ホーム	(福)しらかみ長寿会	29	123,830	男鹿市	地域密着型特別養護老人ホーム	(福)福ふく(仮称)	29	123,830	秋田市	地域密着型特別養護老人ホーム	(福)はまなす会	29	123,830	由利本荘市	認知症高齢者グループホーム	(株)Kitahamanokaze	9	32,000	認知症高齢者グループホーム	(株)虹の街	9	32,000	小規模多機能型居宅介護事業所	(株)虹の街	18	32,000	仙北市	認知症高齢者グループホーム	(株)大曲仙北介護支援事業所	9	32,000	湯沢市	小規模多機能型居宅介護事業所	こまち農業協同組合	18	32,000	合計 (12施設)				687,270
実施主体	施設種別	事業者	定員	補助額 (千円)																																																															
大館市	認知症高齢者グループホーム	(福)比内ふくし会	9	32,000																																																															
	小規模多機能型居宅介護事業所	(福)比内ふくし会	25	32,000																																																															
	認知症高齢者グループホーム	(株)エーアイエム	9	32,000																																																															
北秋田市	小規模(定員29人以下)のケアハウス	(福)秋田県民生協会	14	59,780																																																															
能代市	地域密着型特別養護老人ホーム	(福)しらかみ長寿会	29	123,830																																																															
男鹿市	地域密着型特別養護老人ホーム	(福)福ふく(仮称)	29	123,830																																																															
秋田市	地域密着型特別養護老人ホーム	(福)はまなす会	29	123,830																																																															
由利本荘市	認知症高齢者グループホーム	(株)Kitahamanokaze	9	32,000																																																															
	認知症高齢者グループホーム	(株)虹の街	9	32,000																																																															
	小規模多機能型居宅介護事業所	(株)虹の街	18	32,000																																																															
仙北市	認知症高齢者グループホーム	(株)大曲仙北介護支援事業所	9	32,000																																																															
湯沢市	小規模多機能型居宅介護事業所	こまち農業協同組合	18	32,000																																																															
合計 (12施設)				687,270																																																															

(2) 介護施設開設準備経費等支援事業

135,378千円

介護保険施設等において、開設時から質の高いサービスが提供できるよう、設備整備費及び備品購入費等に要する経費を補助。

実施主体	施設種別	事業者	補助対象定員	補助額 (千円)
大館市	認知症高齢者グループホーム	(福)比内ふくし会	9	5,589
	小規模多機能型居宅介護事業所	(福)比内ふくし会	9	5,589
	認知症高齢者グループホーム	(株)エーアイエム	9	5,589
北秋田市	小規模(定員29人以下)のケアハウス	(福)秋田県民生協会	14	8,694
能代市	地域密着型特別養護老人ホーム	(福)しらかみ長寿会	29	18,009
男鹿市	地域密着型特別養護老人ホーム	(福)福ふく(仮称)	29	18,009
秋田市	地域密着型特別養護老人ホーム	(福)はまなす会	29	18,009
由利本荘市	認知症高齢者グループホーム	(株)Kitahamanokaze	9	5,589
	認知症高齢者グループホーム	(株)虹の街	9	5,589
	小規模多機能型居宅介護事業所	(株)虹の街	7	4,347
(福)象潟健成会	特別養護老人ホーム	(福)象潟健成会	50	31,050
仙北市	認知症高齢者グループホーム	(株)大曲仙北介護支援事業所	9	5,589
湯沢市	小規模多機能型居宅介護事業所	こまち農業協同組合	6	3,726
合計(13施設)				135,378

(3) 特別養護老人ホーム等空間整備事業

23,800千円

特別養護老人ホームに入所する利用者のプライバシーを保護するため、多床室のベッド間を壁で仕切るなどの改修に要する経費を補助。

実施主体	施設名(施設所在地)	床数	補助額 (千円)
(福)雄勝福祉会	特別養護老人ホーム サン・グリーンゆざわ(湯沢市)	34	23,800

事業概要

長寿社会課

事業名	内 容
<p>⑨ 老人福祉総合エリア改修事業</p> <p style="text-align: right;">128,976千円</p> <p style="font-size: 2em;">〔</p> <p style="margin-left: 2em;">⊕ 112,848</p> <p style="margin-left: 2em;">⊖ 16,128</p> <p style="font-size: 2em;">〕</p> <p>[南部老人福祉総合エリア老人専用マンション基金]</p>	<p>1 事業目的</p> <p>施設の老朽化が進行している老人福祉総合エリアについて、利用者の安心・安全の確保と利便性向上のため、必要な修繕・改修を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 南部老人福祉総合エリア（老人専用マンション）大規模修繕事業 112,848千円</p> <p style="margin-left: 40px;">老朽化した箇所の修繕及び入浴に介助等が必要となった者のため、共用浴室の整備等を行う。</p> <p style="margin-left: 40px;">①屋上防水層・外壁の補修 51,947千円</p> <p style="margin-left: 40px;">②エレベーターの更新 29,082千円</p> <p style="margin-left: 40px;">③共用浴室の整備 31,819千円</p> <p>(2) 南部老人福祉総合エリア（養護老人ホーム）改修事業 16,128千円</p> <p style="margin-left: 40px;">養護老人ホーム及び渡り廊下で繋がる軽費老人ホームの利用者で、車いすを利用している要介護者等が、安心・安全に入浴することができるよう、特殊浴槽を設置した浴室の整備を行う。</p>

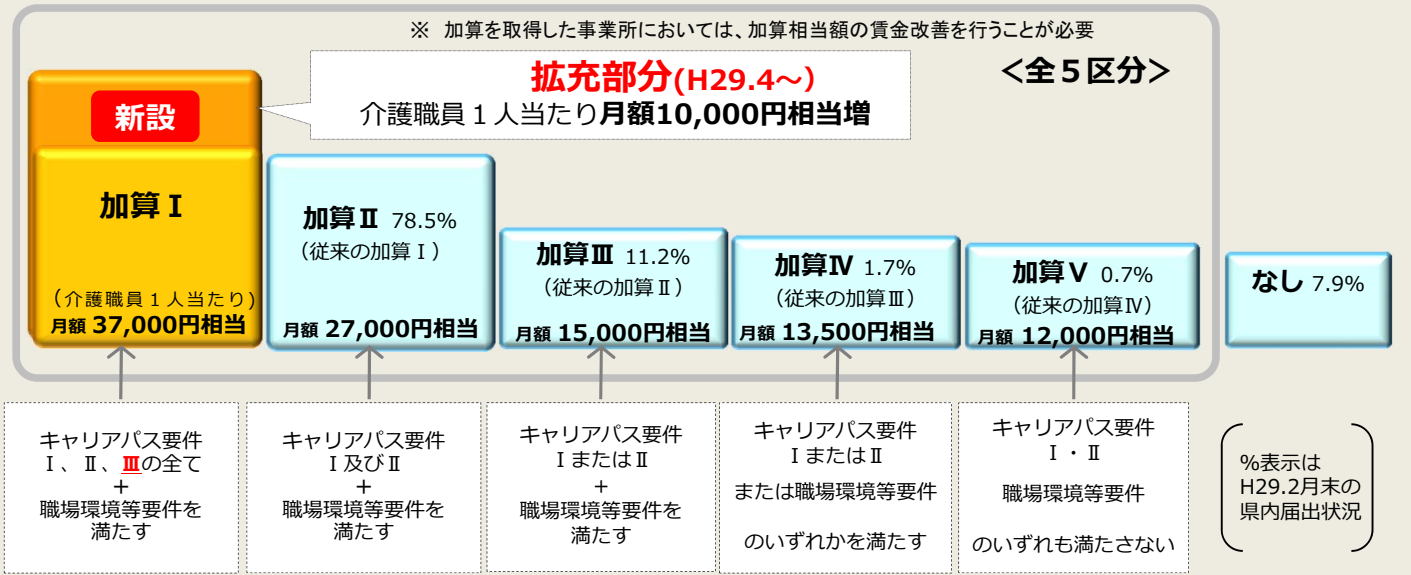
事業概要

長寿社会課

事業名	内 容
<p>⑨ 介護職員処遇改善 加算取得促進特別支援 事業</p> <p style="text-align: right;">19,974千円</p> <p>⑩ (19,974)</p>	<p>1 事業目的 介護人材の確保・定着を図るため、介護サービス事業者に対し処遇改善加算の取得に向けた支援を行い、職員の労働環境・処遇の改善を促進する。</p> <p>2 実施主体 県 ・委託先 介護事業者の処遇改善加算取得等に関する総合的な支援体制を有するコンサルティング業者等</p> <p>3 事業内容</p> <p>(1) 現状把握 1,859千円 加算取得対象サービス事業所の状況を把握するとともに、取得に向けた支援ツールを提供する。</p> <p>①事業所に対するアンケートの実施 ・内 容 回答内容を分析し、加算取得が進まない事業者に対して、状況に応じた課題や目標を整理の上、働きかけを実施</p> <p>②加算取得診断ツール等の作成・配付 ・内 容 事業者自らが加算取得要件の到達度や加算による収入見込額及び分配方法を確認できるツールを作成し提供</p> <p>(2) 制度周知 1,050千円 制度の主旨、取得方法等を説明したリーフレットを作成し配付する。 ・配付先 加算取得対象サービス事業所 ・作成部数 5,000部</p> <p>(3) 支援体制の整備 17,065千円 処遇改善加算の周知や取得に向けた支援を総合的に行う「処遇改善加算導入支援センター（仮称）」を設置し、県内事業者の処遇改善加算の取得を促進する。</p>

	<p>①センター運営費 12,171千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営体制 統括マネージャー1名、コーディネーター2名、スタッフ1名 ・内 容 総合的な調整、コールセンター機能、コーディネーターによる相談・助言・指導 ・設置場所 秋田市内の事務所を想定 <p>②支援担当者研修会 2,895千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 センター職員、社会保険労務士 ・内 容 コンサルティング業者が加算取得に必要な知識や支援方法を伝授し、県内事業者へ適切に支援できるよう育成 <p>③事業者説明会 1,999千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 加算取得対象サービス事業所 ・内 容 加算取得に向けた要件整備や活用方法等について普及啓発 ・実施回数 各2回（県北・中央・県南）
--	--

1 「介護職員処遇改善加算」の区分について



▶キャリアパス要件

- Ⅰ 職位・職責・職務内容に応じた任用要件と賃金体系の整備
- Ⅱ 資質向上のための計画を策定して、研修の実施または研修の機会を設ける
- Ⅲ **経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期的に昇給を判定する仕組みを設ける**

キャリアパス要件Ⅲ(例)

- 「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組み
- 「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組み など

▶職場環境等要件

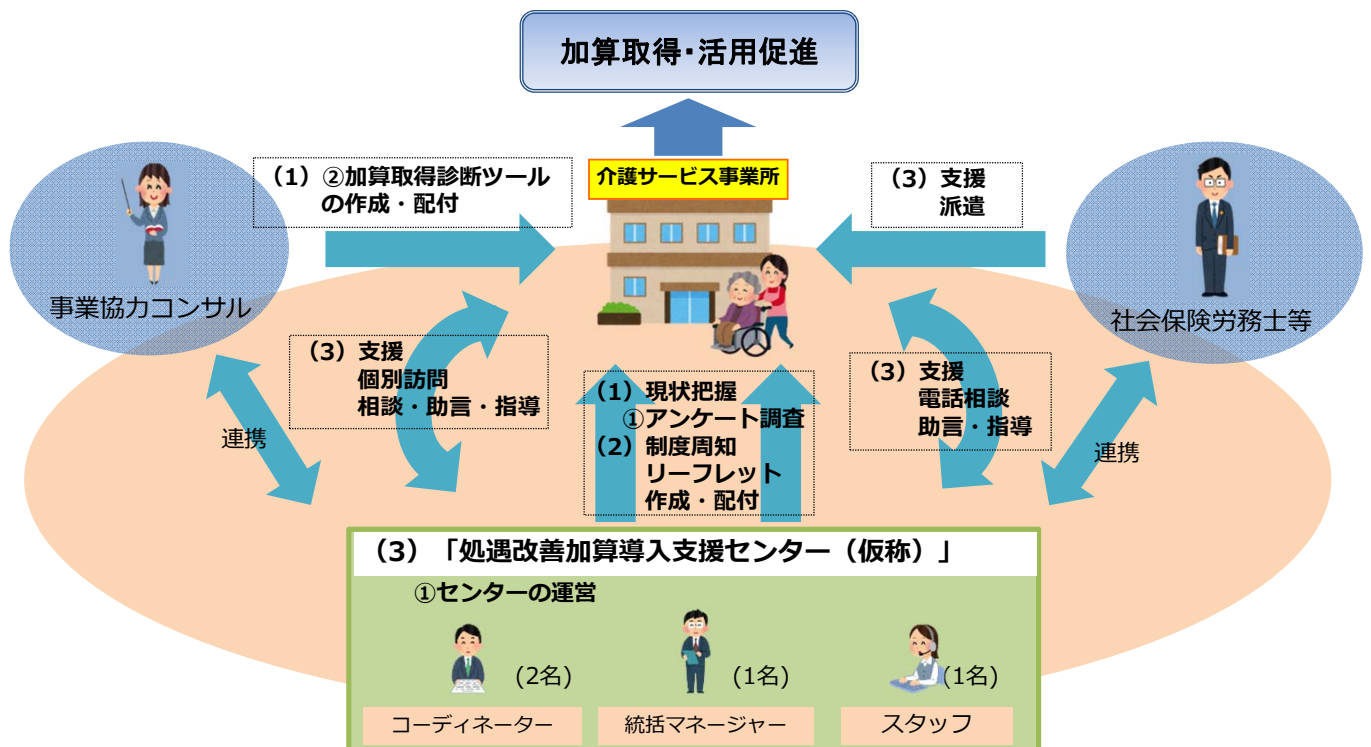
賃金改善以外の処遇改善（職場環境の改善など）の取組を実施する。

(例)

- 職員のキャリアアップのための研修受講支援
- 職員の健康管理強化や育児休業制度などの支援

2 「介護職員処遇改善加算取得促進特別支援事業」 (イメージ図)

処遇改善加算の周知や取得に係る支援を総合的に行うセンターを設置し、県内事業者の処遇改善加算の取得促進を図る。



事業概要

障害福祉課

事業名	内 容
<p>⑧ ヘルプマーク・ヘルプカード普及推進事業</p> <p style="text-align: right;">5, 523千円</p> <p>(⑨ 2, 500) (⑩ 3, 023)</p>	<p>1 事業目的</p> <p>障害のある方等が安心して社会参加できる環境づくりと障害への理解を促進し、誰もが相互に支え合い共生する社会の実現に向け、外見からは援助や配慮が必要なことが分からない障害のある方等にヘルプマーク・ヘルプカードを配付するとともに、各種媒体を活用した普及啓発活動を実施する。</p> <p>2 実施主体 県</p> <p>3 事業内容</p> <p>(1) ヘルプマーク・ヘルプカードの作成・配付 3, 513千円</p> <p>①対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見からは援助や配慮を必要としていることが分からない方 ・身体障害者、知的障害者、精神障害者など援助や配慮を必要とする方 <p>②配付時期 平成29年12月(予定)</p> <p>③配付場所 市町村、地域振興局など</p> <p>④作成数 ヘルプマーク・ヘルプカード 各4,000部</p> <p>(2) 県民や関係団体への普及啓発及び理解促進 2, 010千円</p> <p>①県広報紙への掲載、ポスター掲示やリーフレットの配布</p> <p>②関係団体、民間事業者と連携した普及啓発活動</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【ヘルプマークとは】</p> <p>外見からは援助や配慮を必要としていると分からない方が、<u>配慮を必要としていることを周囲に気付いてもらうことができるよう</u>、カバン等に着けて持ち歩くマーク。</p> <p>【ヘルプカードとは】</p> <p>援助を必要とする方が携帯し、緊急時や日常生活で支援が必要なときに、<u>支援を求めるとの意思表示を行うための運転免許証サイズのカード</u>。</p> </div>

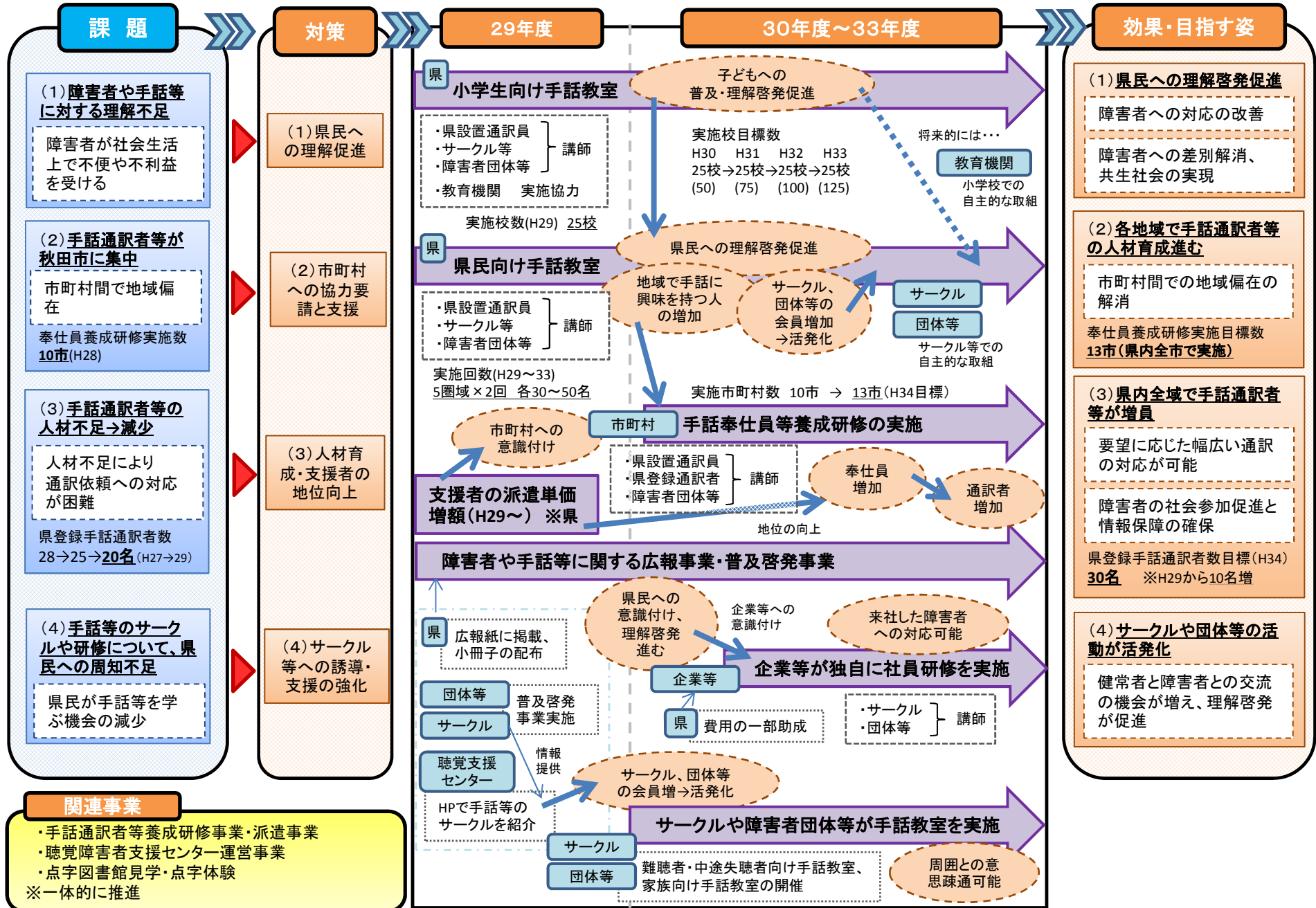
事業概要

障害福祉課

事業名	内 容
<p>⑨ 手話等普及啓発促進事業</p> <p style="text-align: right;">1, 687千円</p> <p>⊖ (1, 687)</p>	<p>1 事業目的</p> <p>「秋田県手話言語、点字等の普及等による円滑な意思疎通の促進に関する条例」が施行されたことを契機に、障害の有無に関わらず相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、手話等の理解や普及を促進する。</p> <p>2 実施主体 県</p> <p>3 事業内容</p> <p>(1) 小学生向け手話教室 987千円 小学校に手話通訳者及びろう者を講師として派遣し、簡単な挨拶や自己紹介程度の手話教室を開催する。 ・対象校 希望する25校 ・対象学年 小学3年生から6年生まで ・講師 ろう者、県設置手話通訳員、県派遣登録手話通訳者、手話サークル会員等</p> <p>(2) 県民向け手話教室 245千円 県の手話通訳員が、県民を対象とした手話教室を開催する。 ・開催回数 10回 ・対象者 県民 ・講師 ろう者、県設置手話通訳員、県派遣登録手話通訳者、手話サークル会員等</p> <p>(3) 手話等理解啓発事業 455千円 子どもから大人までわかりやすい内容の小冊子を配布し、県民へ障害や手話等についての理解啓発を図る。 ・配布部数 2,000部 ・配布先 教育機関、市町村、地域振興局等</p>

県と関係団体等で意見交換会を開催し、意思統一を図り連携しながら県全体で事業を推進する。

手話等普及啓発促進事業 目指す姿



事業概要

障害福祉課

事業名	内 容																															
<p>障害児・者施設整備補助事業</p> <p style="text-align: center;">69,429千円</p> <p> Ⓢ 46,284 Ⓣ 18,500 Ⓜ 4,645 </p>	<p>1 事業目的 障害福祉サービスを提供する障害児・者施設の整備を促進することにより、障害児・者の福祉の向上を図る。</p> <p>2 事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 45%;">設 置 主 体 名</th> <th style="width: 10%;">設置場所</th> <th style="width: 10%;">設置区分</th> <th style="width: 20%;">種別・定員(人)</th> <th style="width: 15%;">補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(福)大館圏域ふくし会グループホーム矢立育成園(しらさわA)(仮称)</td> <td>大館市</td> <td>創設</td> <td>共同生活援助 6</td> <td>22,600</td> </tr> <tr> <td>(福)大館圏域ふくし会グループホーム矢立育成園(つくし森A)(仮称)</td> <td>大館市</td> <td>創設</td> <td>共同生活援助 6</td> <td>22,600</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(福)ニツ井めぐみ会第二ニツ井めぐみホーム</td> <td rowspan="2">能代市</td> <td rowspan="2">大規模修繕</td> <td>共同生活援助 3</td> <td rowspan="2">1,629</td> </tr> <tr> <td>短期入所 2</td> </tr> <tr> <td>(社医)興生会グループホームはぐろ(仮称)</td> <td>横手市</td> <td>創設</td> <td>共同生活援助 7</td> <td>22,600</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>4か所</td> <td>69,429</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 補助率 国1/2、県1/4</p>	設 置 主 体 名	設置場所	設置区分	種別・定員(人)	補助額	(福)大館圏域ふくし会グループホーム矢立育成園(しらさわA)(仮称)	大館市	創設	共同生活援助 6	22,600	(福)大館圏域ふくし会グループホーム矢立育成園(つくし森A)(仮称)	大館市	創設	共同生活援助 6	22,600	(福)ニツ井めぐみ会第二ニツ井めぐみホーム	能代市	大規模修繕	共同生活援助 3	1,629	短期入所 2	(社医)興生会グループホームはぐろ(仮称)	横手市	創設	共同生活援助 7	22,600	計	/	/	4か所	69,429
設 置 主 体 名	設置場所	設置区分	種別・定員(人)	補助額																												
(福)大館圏域ふくし会グループホーム矢立育成園(しらさわA)(仮称)	大館市	創設	共同生活援助 6	22,600																												
(福)大館圏域ふくし会グループホーム矢立育成園(つくし森A)(仮称)	大館市	創設	共同生活援助 6	22,600																												
(福)ニツ井めぐみ会第二ニツ井めぐみホーム	能代市	大規模修繕	共同生活援助 3	1,629																												
			短期入所 2																													
(社医)興生会グループホームはぐろ(仮称)	横手市	創設	共同生活援助 7	22,600																												
計	/	/	4か所	69,429																												

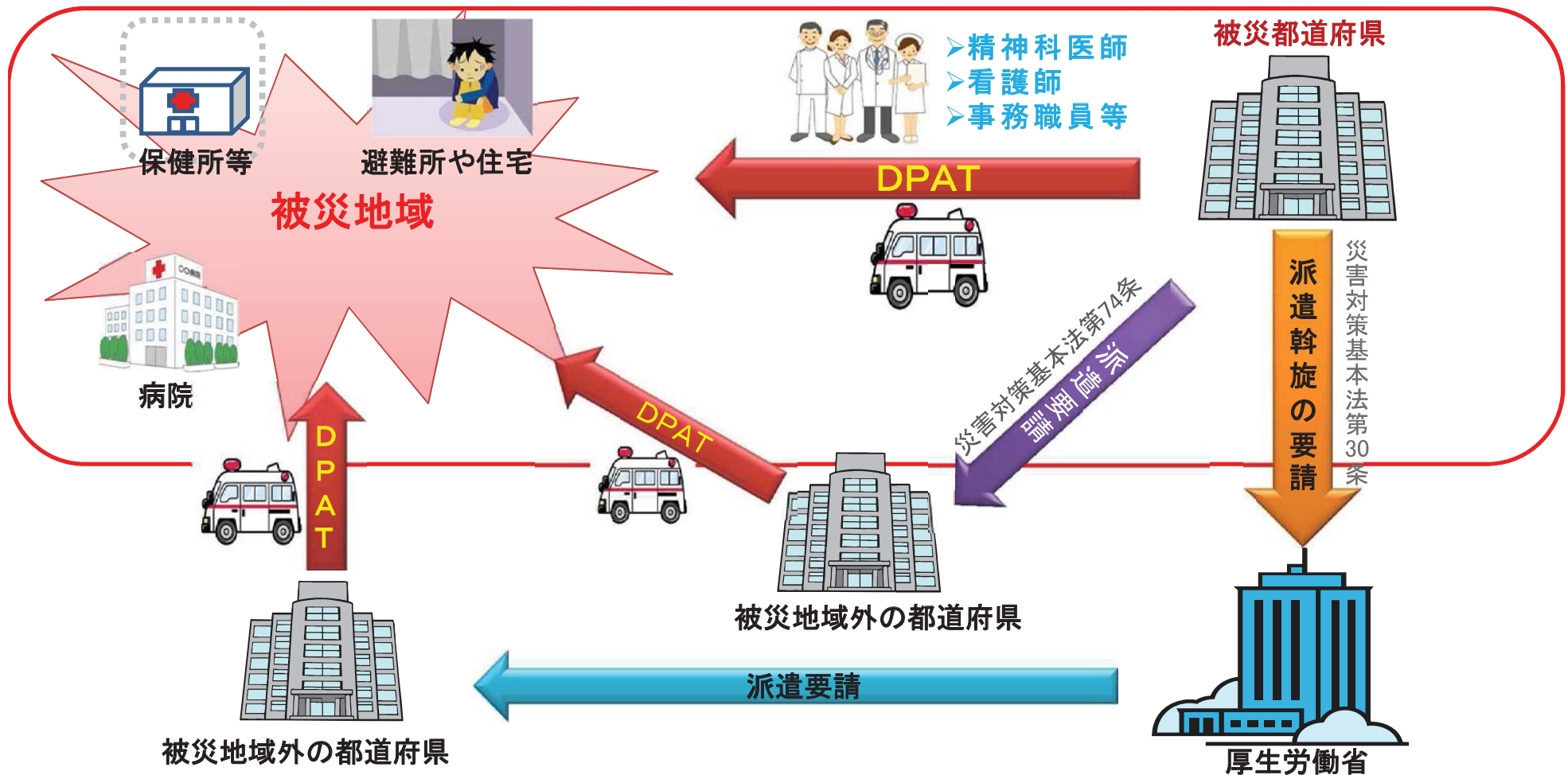
事業概要

障害福祉課

事業名	内 容
<p>① 災害派遣精神医療 チーム体制整備事業</p> <p style="text-align: right;">5, 253千円</p> <p>② 5, 253</p>	<p>1 事業目的 大規模災害発生時に増大する精神保健医療ニーズに適切かつ迅速に対応するため、災害派遣精神医療チーム（DPAT）の体制を整備する。</p> <p>2 実施主体 県</p> <p>3 事業内容</p> <p>(1) 災害派遣精神医療チーム運営事業 923千円 ・ DPATの活動に要する経費 （研修派遣、研修開催、衛星携帯電話等通信経費）</p> <p>(2) 災害派遣精神医療チーム資機材整備事業 4, 330千円</p> <p>①整備する資機材</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>個人装備：識別ベスト、活動服、ヘルメットほか 電子機器：モバイルパソコン、プリンターほか 通信機器：衛星携帯電話、モバイルルーターほか</p> </div> <p>②配置先 秋田大学医学部附属病院 秋田緑ヶ丘病院 協和病院 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【DPAT（ディーパット）とは】 大規模災害発生時、精神科医師、看護師、業務調整員（ロジスティクス）のほか、現地のニーズに合わせて、薬剤師、保健師、精神保健福祉士や臨床心理技術者等を含めて適宜構成し、被災地域において、精神医療及び精神保健活動の支援を行うチーム。 Disaster Psychiatric Assistance Team の略。</p> </div>

災害派遣精神医療チーム:DPAT (Disaster Psychiatric Assistance Team)

自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの大規模災害等の後、被災地域に入り、精神医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチーム。



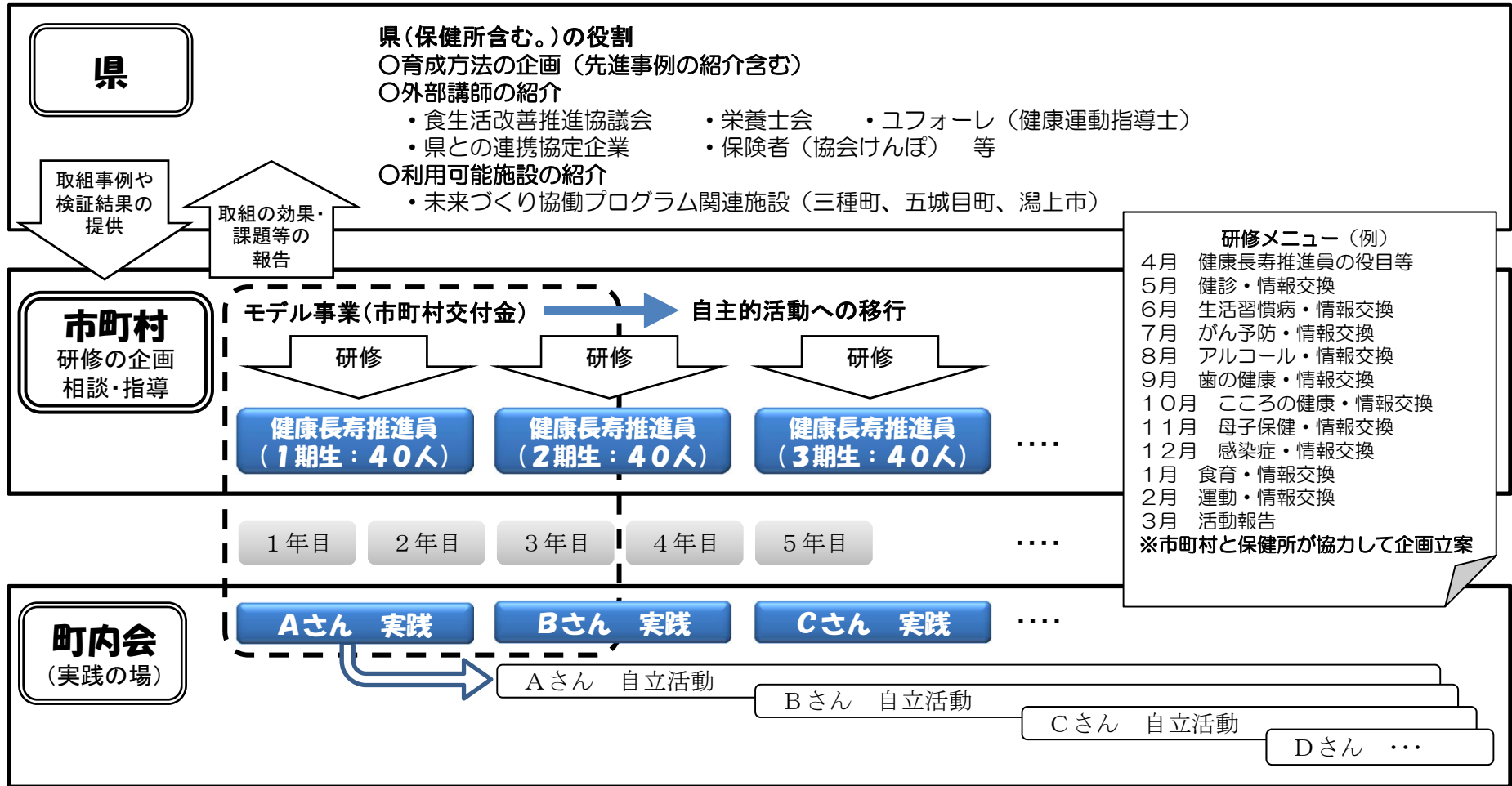
事業概要

健康推進課

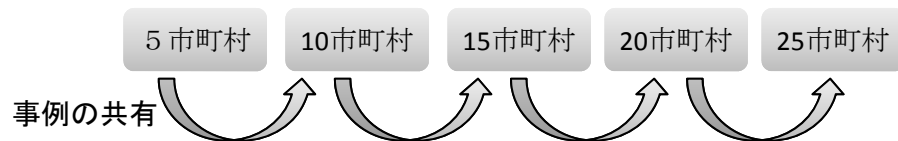
事業名	内 容
<p>⑨ 「あきた健康宣言！」推進事業</p> <p style="text-align: center;">20,759千円</p> <p>(⊖ 20,759)</p>	<p>1 事業目的 県民の健康寿命を延伸し、健康長寿社会を実現するため、「10年で健康寿命日本一」に向けた県民運動を展開する。</p> <p>2 実施主体 県、市町村、健康づくり推進関係団体など</p> <p>3 事業内容</p> <p>(1) 「あきた健康宣言！」周知啓発事業 13,629千円 健康寿命日本一に向けた県民の意識改革と行動変容を促進する。</p> <p>①メディアを活用した啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、ラジオ、新聞等による啓発 ・健康づくり県民フェアの開催 運動ブース、食生活ブース、健康診断ブース 等 <p>②県広報紙による啓発</p> <p>(2) 秋田県健康づくり推進体制整備事業 1,166千円 関係団体と一体となって「健康寿命日本一」に向けた取組を推進する体制を整備する。</p> <p>①「あきた健康長寿政策会議（仮称）」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進のための施策の提言及び評価 ・開催回数 年3回 ・構成団体 秋田大学、県医師会、県歯科医師会、商工団体等 <p>②「秋田県健康づくり県民運動推進協議会（仮称）」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり県民運動の推進主体として各団体の特徴・特性を生かしながら自主的な健康づくり活動を実践 ・構成団体 経済団体、保健医療団体、民間活動団体、市町村、報道機関等 <p>(3) 市町村巡回キャラバン事業 68千円 知事等が市町村長とデータに基づく健康課題と対策について意見交換し、「健康寿命日本一」に向けた地域の取組を促進する。</p>

事業名	内 容										
	<p>(4) 地域健康づくり人材活性化事業 5,896千円 健康意識を高め、主体的に活動する人材を育成する。</p> <p>①タウンミーティングの開催 946千円 健康づくりの意義や目的について学び、具体的な活動のきっかけとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 保健所 ・対 象 住民及び市町村職員 ・内 容 取組事例の紹介及び先進地である長野県の保健補導員等による講演 <p>②市町村への交付金 4,950千円 健康づくり人材の育成に取り組む市町村を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対 象 5市町村 ・対象経費 研修会、視察活動等に要する経費（備品購入費を除く） ・補助額 均等割＋人口割 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">10万人以上</td> <td>180万円</td> </tr> <tr> <td>5～10万人</td> <td>100万円</td> </tr> <tr> <td>2～5万人</td> <td>80万円</td> </tr> <tr> <td>7千～2万人</td> <td>70万円</td> </tr> <tr> <td>7千人未満</td> <td>65万円</td> </tr> </table> 	10万人以上	180万円	5～10万人	100万円	2～5万人	80万円	7千～2万人	70万円	7千人未満	65万円
10万人以上	180万円										
5～10万人	100万円										
2～5万人	80万円										
7千～2万人	70万円										
7千人未満	65万円										

地域健康づくり活性化事業スキーム



実施市町村を5年間で全県に拡大



事業概要

健康推進課

事業名	内 容
<p>歯科保健医療推進事業</p> <p style="text-align: center;">1, 589千円</p> <p>(⊖ 1, 589)</p>	<p>1 ⑨ 「歯科口腔保健を軸とした生涯元気に暮らすあきた」推進事業 543千円</p> <p>(1) 事業目的 高齢者の口腔機能を維持し、健康寿命の延伸に資するため、医療・介護職への口腔ケアの知識の普及及び歯科専門職との連携に向けた取組を促進する。</p> <p>(2) 実施主体 県</p> <p>(3) 事業内容 検討会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバー 県歯科医師会、医師会、薬剤師会、看護協会、歯科衛生士会、栄養士会、介護関係団体、市町村 等 ・開催回数 3回 ・テーマ 高齢者の歯科口腔ケアの推進（相談、医療介護への技術支援） 等 <p>2 ⑨ 一生自分の歯で食べられる子どもを育成するための普及啓発事業 1, 046千円</p> <p>(1) 事業目的 一生自分の歯で食べられる子どもを育成するため、「むし歯になりにくい口腔内環境の育成」の観点から「乳幼児歯みがきハンドブック」を作成するとともに、乳児家庭への知識の普及及び指導を行う市町村保健師等への研修を充実する。</p> <p>(2) 実施主体 県</p> <p>(3) 事業内容 県歯科医師会・東北大学の監修によるハンドブックを作成する。</p> <p>① 「乳幼児歯みがきハンドブック」の作成及び普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村の乳児家庭全戸訪問において配布しながら普及する。

事業名	内容
	<p>②乳幼児歯科保健指導に関する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健支援センターの歯科衛生士が、市町村の乳児家庭全戸訪問に帯同し、市町村保健師等に実技指導を実施する。 ・ハンドブックの監修者を講師にハンドブックの活用方法等に関する研修会を開催する。

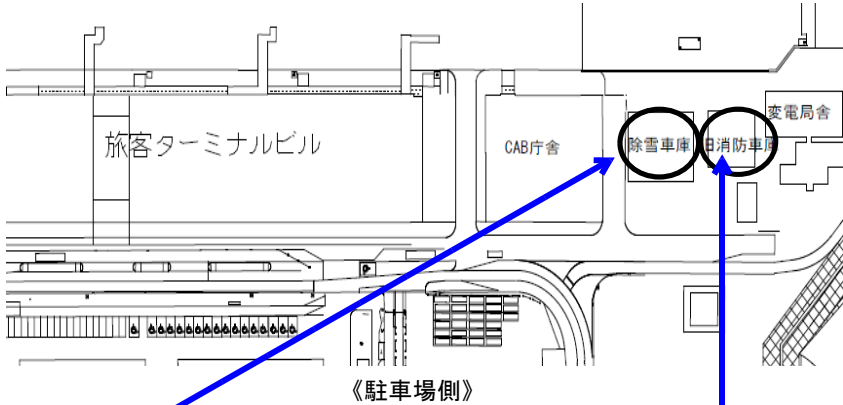


事業概要

がん対策室

事業名	内 容
<p>がん医療対策推進事業 (新)がん患者医療用 補正具助成事業)</p> <p style="text-align: center;">9, 585千円</p> <p>(⊖ 9, 585)</p>	<p>1 事業目的 がん患者の治療と就労や社会参画の両立を支援するため、 医療用補正具購入に係る費用の一部を助成する。</p> <p>2 実施主体 県</p> <p>3 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 がん治療に伴い医療用補正具を購入した患者 ・対象経費 ウィッグ及び乳房補正具の購入費用 ・助成限度額 ウィッグ 1. 5万円 乳房補正具 1万円 ※申請回数は1人各1回限り

事業概要

医務薬事課

事業名	内 容
<p>災害医療体制整備事業 (新) 航空搬送拠点臨時医療施設設備整備事業)</p> <p style="text-align: center;">12,814千円</p> <p>(国) 6,407 (一) 6,407</p>	<p>1 事業目的</p> <p>大規模災害発生時に、傷病者を航空機等により県内外へ円滑に搬送するため、空港等の搬送拠点において、災害派遣医療チーム（DMAT）がトリアージ（※）や医療措置を行う臨時的な医療施設（SCU）を、県が設置運営するために必要な医療資機材等を整備する。</p> <p>※トリアージ：傷病者の重症度等により治療の優先度を決定すること</p> <p>2 実施主体 県</p> <p>3 事業内容</p> <p>秋田空港に、SCUの設置・運営に必要な医療機器及び輸送用資機材等を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機器 (搬送用モニター、輸液ポンプ、搬送用人工呼吸器等) ・本部用・輸送用資機材 (担架、簡易ベッド、患者搬送用台車等) <p>4 配置場所</p> <div style="text-align: center;"> <p>《エプロン側》</p>  <p>《駐車場側》</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>○除雪車庫 2階会議室（本部）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>○旧消防車庫（診療部門）</p> </div> </div>

事業概要

医務薬事課

事業名	内 容
<p>在宅医療推進支援事業</p> <p style="text-align: center;">58,869千円</p> <p>(Ⓐ 58,869)</p> <p>[地域医療介護総合確保基金]</p>	<p>1 事業目的</p> <p>患者がどこにいても安心して医療が受けられる体制を目指すため、各地域の在宅医療提供体制の確保、構築に向けた事業に対し補助する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 在宅療養支援診療所等機能強化事業 17,661千円</p> <p>在宅医療に取り組む診療所の医療機器整備（郡市医師会による貸出用の機器整備を含む）に対して補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助先 在宅医療に取り組む診療所（20か所） ・補助率 2／3 <p>(2) 在宅療養支援歯科診療所等機能強化事業 18,425千円</p> <p>在宅医療に取り組む歯科診療所の医療機器整備（郡市歯科医師会による貸出用の機器整備を含む）に対して補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助先 在宅歯科医療に取り組む歯科診療所（20か所） ・補助率 2／3 <p>(3) 有床診療所施設設備整備事業 19,456千円</p> <p>在宅医療に取り組む有床診療所の施設設備整備に対して補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助先 有床診療所（5か所） ・補助率 3／4 <p>(4) 在宅医療サービス提供施設設備整備事業 3,327千円</p> <p>新規又は拡充により通所・訪問リハビリテーションを行う事業所の設備・車両整備に対して補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助先 病院・診療所 ・補助率 1／2

事業概要

医務薬事課

事業名	内 容
<p>医療ネットワーク推進事業</p> <p style="text-align: center;">20,250千円</p> <p>(Ⓐ 20,250)</p> <p>[地域医療介護総合確保基金]</p>	<p>1 事業目的</p> <p>秋田県医療連携ネットワークシステムの県内全域における活用を促進するため、<u>地域の中核病院</u>がネットワークに参画するために必要な^{エスエスミックスツール}SS-MIX2サーバ等機器の設置費用に対して助成する。</p> <p>※ SS-MIX2：電子カルテ等の既存インフラから自動で情報登録が可能な仕組み</p> <p>2 実施主体 能代山本医師会病院</p> <p>3 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象経費 病院情報システムとの自動連携によりネットワークに接続するために必要なSS-MIX2サーバ等機器の設置費用 ・補助率 3/4 ・補助基準額 27,000千円 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※秋田県医療連携ネットワークシステム（あきたハートフルネット）</p> <p>県内の病院や診療所間で、患者の診療情報を安全かつ簡便に共有できるネットワークシステムとして、平成26年度に運用を開始（運営は秋田県医師会）。</p> <p>医療機関間の情報伝達や連携がスムーズになるため、転院時などにおける医療の継続性、検査や投薬の重複防止など、効率的で質の高い医療の提供に資する。</p> </div> <p>【システム整備済病院】</p> <p>○平成25年度（財源：地域医療再生基金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田大学医学部附属病院 ・市立秋田総合病院 ・秋田赤十字病院 ・脳血管研究センター ・大館市立総合病院 ・北秋田市民病院 <p>○平成27年度（財源：地域医療介護総合確保基金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・由利組合総合病院 ・男鹿みなと市民病院 <p>○参加医療機関（上記病院除く）21施設（H29.5.29現在）</p>

事業概要

医務薬事課

事業名	内容
<p>病床機能分化連携促進事業 (新 医療・介護連携病院 ICT 活用促進事業)</p> <p>13,446千円</p> <p>(13,446)</p> <p>[地域医療介護総合確保基金]</p>	<p>1 事業目的 横手市立大森病院を中心とした横手西部地区の地域包括ケアの推進を図るため、ICTを活用した医療・介護システムを構築する。</p> <p>2 実施主体 横手市</p> <p>3 事業内容 横手市立大森病院の診療情報等のうち本人の同意を得たものを、診療所、介護施設等で共有・連携するための機器等を整備する。 ・補助率 3/4</p> <div data-bbox="550 996 1436 1736" style="text-align: center;"> <h3>市立大森病院を中心とした医療連携ネットワーク</h3> </div>

事 業 概 要

医 務 薬 事 課

事 業 名	内 容
<p>① 高齢化社会に対応した医療提供体制推進事業</p> <p style="text-align: center;">29,386千円</p> <p>② 29,386</p> <p>債務負担行為 ③ 53,444千円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>内 訳</p> <p>30年度 13,361千円</p> <p>31年度 13,361千円</p> <p>32年度 13,361千円</p> <p>33年度 13,361千円</p> </div>	<p>1 事業目的</p> <p>全国一の高齢化先進県である本県において、秋田大学と連携し、大学の持つ人的資源を活用し、高齢者に特有の疾患に関する社会学的側面を含めた研究を行うとともに、呼吸器疾患の専門医を養成し、健康寿命日本一を目指す本県における医療提供面での体制強化を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 高齢者医療先端研究センター（仮称）運営支援事業</p> <p style="text-align: right;">22,705千円</p> <p>認知症や肺炎など的高齢者に特有の疾患や、複数疾患を抱える高齢者に対する総合的な医療提供の研究のほか、疾患を抱える高齢者を地域で支える仕組みづくりや医療機器の開発などの研究に対し支援を行い、本県の高齢者医療施策等へ反映させる。</p> <p>①実施主体 秋田大学</p> <p>②実施期間 平成29年10月～平成30年3月</p> <p>③補助率 10/10</p> <p>④補助対象 高齢者医療先端研究センター運営に係る人件費（5名分）及び研究費</p> <p>(2) 呼吸器内科医養成体制構築事業</p> <p style="text-align: right;">6,681千円</p> <p>高齢者に多い疾患であるものの、県内で医師不足が深刻な呼吸器内科の人材確保を図るため、秋田大学医学部に設置される独立した呼吸器内科学講座に対し、呼吸器疾患の予防・治療方法や医師派遣システムに係る研究を委託する。</p> <p>①委託先 秋田大学</p> <p>②実施期間 平成29～33年度（5年間）</p> <p>③委託費 総 額 60,125千円</p> <p style="padding-left: 20px;">平成29年度 6,681千円（10月～3月分）</p> <p style="padding-left: 20px;">平成30年度～平成33年度 53,444千円（債務負担行為設定）</p> <p>④委託経費 呼吸器内科学講座における研究に係る人件費（1名分）及び研究費</p>

高齢化社会に対応した医療提供体制推進事業について

医務薬事課

1 現状と課題

- 全国一の高齢化先進県として、高齢者特有の認知症、肺炎、脳血管疾患等への対策が、健康寿命日本一を目指す上で、大きな課題となっている。
- 高齢者特有の疾患、特に呼吸器内科については秋田大学に独立した講座がなく、教育体制が脆弱で、県内の呼吸器内科医が不足している。

秋田大学が県、県医師会と連携し、高齢者医療先端研究センター設置検討

県、県医師会等から秋田大学へ専門的講座の設置要請

2 事業の概要

01. 高齢者医療先端研究センター（仮称）運営支援事業 22,705 千円

- | | |
|--------------|------------------|
| ・センター長（教授）1名 | ・高齢者医療 1名 |
| ・教員 5名 | ・高齢者医療 2名（県支援2名） |
| | ・呼吸器内科 2名（県支援2名） |
| | ※呼吸器内科学講座兼務 |
| | ・地域社会学 1名（県支援1名） |
| 合計 6名 | （県支援5名） |

※このほか、理工学部、教育文化学部、医学部に所属する教員の参画を得て、全学的な体制で具体的な研究を進めていく。

02. 呼吸器内科医養成体制構築事業 6,681 千円

- | | |
|--------|------------------|
| ・教授 1名 | |
| ・教員 2名 | （県支援1名） |
| | （※このほか、センター兼務2名） |
| ・医員 3名 | |
| 合計 6名 | （県支援1名） |

【期待される効果】

- ・高齢者特有の認知症、肺炎、脳血管疾患等の予防・治療の研究。
- ・複数の疾患を抱える高齢者に対する総合的な医療提供の研究。
- ・認知症、その他の疾患を抱える高齢者を、地域で支える仕組みづくりに関する社会学的研究。
- ・医理工連携による、高齢者医療や介護等へのロボティクスの活用などの研究。
- ・独立した呼吸器内科学講座を設置することによる人材育成と地域医療現場への配置。

秋田県障害児通所給付費等不服審査会条例の
一部を改正する条例案の概要

障 害 福 祉 課

1 改正理由

児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令（平成29年政令第63号）による児童福祉法施行令（昭和23年政令第74号）の一部改正に伴い、所要の規定の整理を行う必要がある。

2 改正内容

引用している児童福祉法施行令の条項を改めることとする。（第2条関係）

3 施行期日

この条例は、公布の日から施行することとする。

秋田県障害児通所給付費等不服審査会条例の一部を改正する条例案新旧対照表

<p>新</p>	<p>(定数) 第二条 略 2 児童福祉法施行令(昭和二十三年政令第七十四号)第四十四条の五第一項に規定する合議体を構成する委員の定数は、八人以内とする。</p>
<p>旧</p>	<p>(定数) 第二条 略 2 児童福祉法施行令(昭和二十三年政令第七十四号)第四十四条の六第一項に規定する合議体を構成する委員の定数は、八人以内とする。</p>